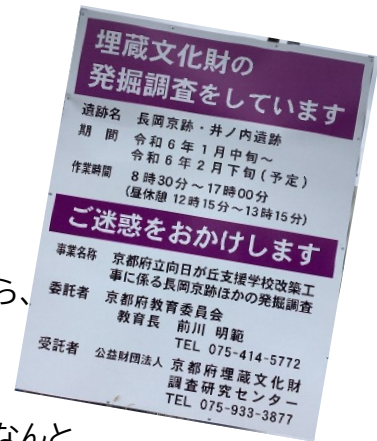




Team New Vision

きゅうこうしゃかいたいげんば まいぞうぶんかざいはつくつちょうさ 旧校舎解体現場、埋蔵文化財発掘調査レポ!!

京都府埋蔵文化財調査研究センターの菅(すが)様から、
旧校舎の発掘調査の状況を教えてくださいました。



現在行われている旧校舎敷地内の埋蔵文化財調査はなんと、

1,286 回目

の調査だそうです!!

今から40年程前の44回目の調査で、向日が丘支援学校にはおよそ南北に「旧河川」が流れていたことがわかったそうです。



先日、**奈良時代**の土器が寄宿舍跡地から発見されました。時代を確定するのは、出てきた土器と

地層の断面から判断されるようで、時代によって層の色が異なるそうです。発掘現場にブルーシートがたくさんあったので、その理由を聞いたところ、遺構(いこう)の保護のためだそうです。雨や風から守りながら、調査を進められているとのことでした。※遺構(いこう):昔の建築のあと

この日も発掘調査の作業員さんは10名程度おられました。細かで神経を使うお仕事です。冬は寒さ対策、夏は熱中症対策が必要だとおっしゃっていました。

何かしら発掘すると、「あったー!」と思わず触ってしまいそうになるそうです。でも、遺構(いこう)なので、簡単に触ってはいけないそうです。宝探しみたいです。

それから、自主通学の生徒をはじめ、授業や通勤等で利用し、長い間、お世話になったバス停名が「栗生畑ヶ田(あおはたけだ)」に変更されました。

「向日が丘支援学校前」のバス停がなくなり、ちょっぴりさみしいですね。これまで、ありがとうございました。



なお、レポートの詳細は後日本校 YouTube で紹介しますので、ホームページをお楽しみに。

